

# 宇美町公共施設再配置計画 第4回庁外委員会 会議録（要旨）

日時：2019（平成31）年2月27日  
場所：地域交流センター 2階会議室

## 1. 開会あいさつ（高場副町長）

## 2. 座長あいさつ（池添准教授）

## 3. 事務局からの説明

- (1) 宇美町公共施設再配置計画（案）1.～3.について
- (2) 宇美町公共施設再配置計画（案）4.～5.について

---

### <1.～3. 割愛>

---

## 4. 審議（意見・質疑）

### (1)(2) 宇美町公共施設再配置計画（案）について

○P. 55「再配置の方向による延床面積の検証」について、小中学校は統廃合や複合化を含めた上で、削減面積部分が減るといふことか。（委員）

→この表は、各施設の機能が40年後にどれだけ減るのかを示したものである。学校は、その学校機能がどれだけ減るのかを示している。ただし、学校には空き教室を利用した他の機能が入るので、その導入機能の面積分は元の施設のところに算入している。（事務局）

○P. 7施設数について、公共施設は95施設あり、太字の45施設が今回の対象施設となると、残りの施設については、今後40年間は扱わないと考えてよいのか。また、P. 52の一番下には「町内全95施設を対象とした場合は」と表記がある。どのように考えたらよいか。（委員）

→95施設は、公園のトイレなどを含むすべての施設を含めた場合の数である。そのなかで、今回一次評価を行ったものが45施設である。その理由は、45施設以外が小規模であることや、利用状況の評価が困難であり、再配置による効果があまり期待できないため対象外としている。ロードマップ掲載の施設は36施設である。95から36を引いた59施設については、36施設と同様な削減水準で減少することを前提としている。したがって、59施設についても現状のまま維持するというわけではない。それぞれで、今後削減を検討していくことになる。（事務局）

○どの部分にも、「この計画は確定ではない」という表記がされているが、直近の10年間はある程度このロードマップに沿って行われるのではないか。その場合、どのようなプロセスを経て確定していくのか。P. 57のPDCAのDの部分に所管課で実施していくとあるが、その手順などはどうなるのか。計画が確定しても、実施するまでには住民理解が必要であり、かなり時間がかかると思われる。（委員）

→例えば、学校施設の場合、この再配置計画だけで統廃合を決定するとはならない。担当部局が学校再編計画なりを策定し、住民（保護者）等の意向を把握しながら決定していく必要がある。一方、し～ず・うみ（働く婦人の家）等の施設については、利用者意見を踏まえ所管課が計画を固める必要がある。この再配置計画はこの程度の削減を行えば、一定の目途が立つことを示

したものであり、個別施設計画については、この計画を軸に、調整を図りながら、計画を策定し進めることになる。(事務局)

○歴史民俗資料館は、親子で行きづらい雰囲気であり、もう少しコミュニティができるような場所であればよいと感じる。大野城市のふるさと館はよい評判を聞いている。立ち寄りやすく、気軽に歴史をわかりやすく学べたりすればよいではないか。また、うみハピネスには授乳室がない。各施設においてコミュニティが高まるような改善が必要と思う。※1(委員)

→歴史民俗資料館は存続する施設として位置付けている。ワークショップでは他施設との複合化を提案する意見もあったが、宇美八幡宮に隣接している立地特性にも配慮していく必要がある。所管課ではないので具体の方向はお示しできないが、いずれ改修時期が到来するので、そのタイミングにあわせ、リニューアルや運営方法を検討することで改善策を見出すことが考えられる。また、うみハピネス、庁舎についても利用者ニーズを踏まえて、改修内容を検討していくことになるのではないかと考えている。(事務局)

○評価の最初には45施設と書いてあるが、途中で36施設に絞られている。9つコミュニティ消防センターが一次評価から二次評価に移る時点で評価対象外となっている。コミュニティ消防センター9施設を二次評価の対象外とすることを明示しておくべきである。しかし、P.55の削減延床面積の検証には、コミュニティ消防センターが含まれている。95施設、45施設、36施設の扱いを整理してほしい。(座長)

○ロードマップの直近10年については具体的に明記されている。特に、宇美南中学校に関してはかなり議論になる点かと思われる。今後、どのように検討していくのかは関心事となる。事務局から回答があったように、きちっとした手続きを踏み、住民と調整をして進めるということを5章かどこかで言及しておいた方がよい。第1期に再配置の対象となっている施設については、「確定事項ではない」といつつも、今後のプロセスについて言及しておいた方がよいと思われる。(座長)

○計画が確定でないと書かれていても、10年後、宇美南中が廃校となると、いろいろな不安が保護者にはよぎると思われる。今後、再編のプロセスがどう進められるのか、手順についても、保護者委の意見についても今後アンケートをとったりするのか、どのような校区編成になるのか等、諸課題が出てくるのが予想される。10年はすぐ来る。南中の統廃合は、延期されるのかどうか。(委員)

→学校施設の再編については、教育委員会、教育関連部局と協議をしているが、今後10年のスキームについては、財産活用課が立案するものではないと解釈している。(事務局)

○P.10(3)のハッチ部分にあるように、学校部分については、ご指摘の意見を意識したコメントの部分だろう。この部分を、学校以外のものを含めるのかどうかかわからないが、少し丁寧に記載しておいた方がよい。(座長)

→5章の「5-1推進体制」の前かもしれないが、ご指摘を踏まえ、コメントの追加を検討したい。(事務局)

○先ほどの意見（※1）は、P. 55の表で、考え方に「現状維持」と判断されている施設については、何もしないのかというご意見と思う。表内の考え方に、「改修時期に応じて・・・」などの追記ができないか。（座長）

→P. 48～50の表内にはソフト的なコメントは入れていない。改修部分に「－」となっている施設があり、この「－」部分に対して何らか記入できることがあれば検討する。（事務局）

○P. 12の将来展望人口。40年後には17%の人口減とあるが、道路事情の改善、宅地開発も進み、今後、人口増加という展望はないのか。もしくは、宇美南中の生徒が増えるということは想定していないのか。井野の道路がバイパスの方につながる計画もあり、農地も宅地転用されている。40年後に総合スポーツセンターが売却され宅地になり、人口増加した場合も想定して、この計画を立案しているのか。その点の考え方をお聞きしたい。明記する必要はないが、今後、人口増加した場合の見直すことも考慮しておくべきだと思う。（委員）

→安直に、この程度の人口が増えるだろうという前提に計画を立てると、結果的に（大きな負担を将来に残し）プラスにならない。再配置計画は、人口減少という悪い側に向かった場合を前提として立案している。学校施設も含め、この計画は10年単位で見直すことを明記しており、人口動態によっては大きく変わる可能性もある。その時点で、複合化、集約化の対象施設、時期について見直すことになる。（事務局）

○P. 12の【2055年（40年後）には約2割（17%人口が減少）】という書きぶりは断定的すぎる。少し書きぶりを変えたらどうか。（委員）

○私は、国も指摘している通り、人口減少となることは間違いないと思う。ただ、局所的に土地（農地）売却によって団地ができる可能性はあるだろう。よって、30年、40年の長期的なスパンで計画はつくるが、今後10年単位で団地が増えるなどの社会動向も考え、見直すことを明記した方がよい。P. 59の図には、施設売却のことだけ記載しているが、跡地に施設をつくることで人口が増えることもあるかもしれない。（委員）

→P. 57には、「適宜計画の進捗状況を検証した上で、おおむね10年ごとに計画を見直す」と明記しているが、目立たないようにも感じられる。意見を踏まえ、「社会情勢の変化等を踏まえ、10年後には確実に見直す」など表記を再検討したい。（事務局）

○P. 57の（5）の部分の見直しだけでなく、（4）P D C Aについても、それぞれ10年間で一巡するように運営していくのか、もう少し具体的に描いたほうがよい。また、P D C A図では再配置推進事務局が一元的に管理していく図となっている。このP D C A図の中にも、関係機関、住民がどのように関わるのか、たとえばDoやCheckの部分で、意見を反映して見直すなど、もう少し丁寧な記載をした方がよい。「外部評価委員会」もP D C Aサイクルの中でも位置付けておくべき。もう少し図の工夫をしてほしい。これだと、すべて行政が決めてしまう印象を与える。（座長）

→検討したい。（事務局）

○今後の人口や子どもの増減は計画時の見通しと実際の進行は異なると思う。この計画は40年後を見据えてどうするのかという計画であるので、それぞれの学校の再編の具体的取組は別の話ではないかと思う。このまま人が減ると、いずれこうなるという計画かなと感じる。(委員)

○施設は施設、学校の運営は別で考えないといけないと思う。(委員)

→学校施設は、施設の効率性からは児童生徒規模に応じた規模が最も効率的である。しかし、教育的観点からは小規模学級の確保などいろいろ意見があると思う。それゆえ、学校施設の再編計画を別途作成して進めていかないと、財産活用課だけで判断できる問題でない認識している。(事務局)

○P. 16の各校の児童生徒数、空き教室数の表記について、これは今後、空き教室がどれだけ増えることの根拠を示すデータだと思うが、P. 39で学校施設は複合化するなど再編していくことを明記している。小林委員の意見は、空き教室を根拠に再編していくというストーリーへの懸念だと思う。(座長)

→P. 15～16の児童数生徒数は推計ではあり、緩やかな推計であれば着目するポイントも少なくなると思うが、学校によっては大きく差が出ているという事実を住民の方にお伝えしないと、適正な判断ができないと思う。しかし、この推計だけをもって、学校を再編するという訳にはいかないのも事実です。(事務局)

○この計画は確定ではないことを、はっきりさせておいて、学校施設については町民の方が安心されるような構成を考えてほしい。他の施設の中には、コストがかかり利用頻度が低いものももちろんあると思う。しかし、利用者からは残してほしいという意見が今後出てくる。住民サービスとして、プラス思考の発想が大切と思う。再配置計画ではないかもしれないが、学校、庁舎などの改修時に施設の魅力を高めることが大切である。(委員)

→P. 10に【再配置の方向性】には、「確定事項ではありません」とあるが、ではどうなるのかというコメントが現在はない。たとえば、「10年ごとに社会情勢等を勘案しながら見直すこととなります」とかの一言が必要かと思う。これが、10ページを開いて出てくるので、掲載場所ももっと前に出すなど検討したい。(事務局)

○P. 16【中学校の生徒数も・・・、空き教室数は増加の傾向にあり、特に宇美南中が著しい】の「特に宇美南中が著しい」は不要ではないか。(委員)

○ただ、これまでの学校増設の経緯を見ると、原田小は廃校になり、再度建設し、不足したので増設し、今度また空き教室が急激に増えてきたという経緯をたどっている。厳しい財政状況の中で、再配置計画を立てているのであり、学校の魅力付けや人口増加の手立て・PRは別にすればよい。再配置計画はそういう意味で、厳しい財政状況の中で、施設を平準化しながら、小中の一体化、福祉との複合化など施設面でのアピールをしないと、まだ施設は必要という印象を住民に与えることになる。サービスはサービスとして残しながら施設はこうするというものを前面に打ち出すべきと思う。(委員)

→表題は見直す。「・・・空き教室数は増加の傾向」までにとどめたい。(事務局)

○内容はそのままでもいいが、表現としては再考されたい。また、生徒数児童数の推計方法について枠囲いで、もう少し根拠を明示してほしい。(座長)

○再配置の前提であるデータはしっかり町民にお知らせする必要があると思うが、実行に至るまでの住民への説明・理解を丁寧にしていく必要がある。(委員)

○町の中心にある宇美町庁舎は町民の誇りなので、もう少し立派なものにつくっていただきたい。中央公民館もロードマップを見ると先の話になっている。だから、財源をつくることを早急に検討していかないといけないと思う。(委員)

→庁舎に関しては、今のまま20年間使用するわけにはいかない。一定の長寿命化対策を実施したいと考えている。形は変わらないが、外壁や内装の一部を改修する方向性を持っている。(事務局)

○スポーツ施設の南町民センターはスポーツ大会を行うにしてもコートは1面しかとれず、会議室を備えていても利用頻度が低い。駐車場が広いが、宇美南中学校と共用する場合でも中途半端な状態で、大会等の会場としても使いづらい。他の市町村に比べると見劣りしてしまう。もう少し、使いみちを考えた工夫ができないかなと思う。スポーツ協会としては、大きな立派な体育館ができ、町民が元気になっていくのが協会の役割と思うので、財源が増えれば、そうした施設を望みたい。(委員)

→宇美町でよく言われるのは、各地域に施設が分散しているなどの意見。この再配置計画をもとに、総合的な計画を立て、複合化されることで施設の使いやすさ(利便性)につながるのかもしれない。また、建替え更新の際には、利用者皆さんの意見を踏まえてどういった機能を持たせるかを検討して進めていくことが重要と考える。一度建設してしまうと後から変更するのは困難なため、住民福祉センターの建替えが到来した際に機能、規模、使い勝手などを踏まえて進めていくことが大切と思う。(事務局)

○自治会代表としては、当計画自体の内容が難しい。推進する際には専門家や学識経験者の意見も取り入れながら進めていく方がいいと思う。(委員)

→まず、この再配置計画については、簡潔にまとめた概要版を策定する。また、来年度以降、再配置計画の難しい内容をいかに手に取って見てもらえるか工夫したPRを行いたい。(事務局)

○特に、P. 52、53部分、効果の検証は読みにくい。【更新費の比較】で、再配置計画で80年使用した場合の243.1億円は総合管理計画の80年使用に比べ、あまり変わらない数値になっている。しかし、内実は総合管理計画の241.5億円は、原田小学校、桜原小学校、宇美東中学校の建替え費用が含まれていないことがその理由。再配置計画は面積を減らしているのになぜ金額が変わらないのかと思われてしまう。総合管理計画は、60年使用を80年使用にしたに過ぎない。そういう部分をもう少し効果がわかる表記にした方がよい。(座長)

→この部分はもう少し、図的なものも考えて、表記を再考したい。(事務局)

○P. 48~50に「ロードマップ」とあるが、なじみがない。計画全体が難しいので、表現を変えてほしい。(委員)

→再配置ロードマップ(行程表)を記載したい。(事務局)

○住民にわかりやすい計画にすること、きちっと見直しをし、住民の方に不安を与えないようにすること、厳しい現実がある中で誤解のない計画にすることなどが大きな意見だったと思う。その点を踏まえ事務局で修正をお願いしたいと思う。(座長)

## 5. 閉会あいさつ

→本日意見を踏まえて、最終案を作成したい。庁内の政策経営会議にかけ、決定される。委員の方々には4月に入り、配布させていただきたい。